



ADB
News Release

ADB 及びタイ政府の委託による、
サムット・プラカーン排水管理プロジェクトに関する
インディペンデント・レビュー(独立専門家パネルによる再調査)開始

マニラ、フィリピン(2001年3月19日) - アジア開発銀行(ADB)及びタイ政府により昨年11月に提案された、タイのサムット・プラカーン排水管理プロジェクトに関する独立専門家パネルによる再調査が本日開始された。再調査パネルは、環境、水中生態学・貝類養殖、および公衆衛生の分野において国際的な評価を有する3名の専門家から構成されている。これらの専門家は、国際的に活動している数多くの専門家の中から、それぞれの専門分野における知識と経験に基づき選出された。再調査は10週間程度を要するものと見込まれる。

再調査は、プロジェクトの環境、生態及び公衆衛生に関する側面を対象とし、市民団体が指摘している地域社会への影響について検討するものである。この再調査の調査対象事項(TOR)は、2ヶ月の公聴期間を経て決定された。この公聴期間の前にTORの英語、タイ語の草案が公表され、公聴期間中広く一般からTORに対する意見と再調査委員会のメンバーの候補者の推薦を求めた。現地の関係者を含め多くのコメントが寄せられ、これらを考慮しながら、2001年3月12日にADBとプロジェクトの実施主体であるタイ政府環境汚染防止局(PCD)がTORを決定した。

再調査パネルは、2001年4月10日までの期間、本プロジェクトに関し一般からの意見や提案等を受け付けることとしている。再調査パネルへの連絡は、PCD(タイ、バンコク所在)が窓口となる(電話: 662- 619-2284、ファックス: 662-619-2282、email: spwpcu@hotmail.com)。また、文書によるコメントは Independent Review Panel for SPWMP, c/o Pollution Control Department, Phaholyothin Center Bldg., 9th Fl. 404 Phaholyothin Rd., Rhayathai Bangkok, 10400, Thailand まで。なお、送り主の氏名、住所、および連絡方法(電話番号、ファックス番号またはEmailアドレス)を必ず明記して頂きたい。

サムット・プラカーン排水管理プロジェクトは、タイで水質汚染が最も深刻な地域の一つにおいて環境の改善を図ることを目的とするプロジェクトであり、様々な援助機関から約7億5000万ドルの融資を受けている(うち2億3000万ドルをADBが融資)。同プロジェクトは、汚染が深刻な地域の水路、河川から海に流出している、産業及び生活排水を処理するものである。現在、このような排水は、百万人もの人々の健康を脅かしているほか、タイ湾沿岸の広範な地域を汚染している。同プロジェクトでは、排水

Asian Development Bank

お問い合わせ

アジア開発銀行上級広報担当官
前川司 Tel: (63-2) 632-5840
Email: tmaekawa@adb.org (English)

アジア開発銀行駐日代表事務所次席
石倉宏一 Tel: (03)3504-3160
Email: kishikura@adb.org (English)

Electronic versions of ADB news releases
<http://www.adb.org>

ADB NR 22/01

による汚染を最小にするため、汚水の発生源と最終処理の両段階で対策を講じる複合的なアプローチを採用している。

独立機関による再調査の TOR 及びプロジェクトの詳細については、ADB のホームページ(<http://www.adb.org>)をご覧ください。タイ語による情報は、PCD のホームページ(<http://www.samutpkwater.com>)において間もなくご覧いただける予定です。